

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	ユニバーサルツーリズム促進事業		担当部局庁	観光庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24～		担当課室	観光産業課		課長 寺田 吉道		
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 20 観光立国を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本法第21条		関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢者、障害者等の移動制約者の社会参加の拡大が望まれ、また、少子高齢化社会が進んでいるなかで、移動制約者の旅行の機会を拡大することにより、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進め、国内観光旅行の促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	移動制約者の旅行の機会を拡大することにより、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進めるため、ユニバーサルツーリズムに適した商品の認定制度の検討、協議会等による地域の受入体制強化、具体的な効用の検証やシンポジウムを通じた普及啓発等により、ユニバーサルツーリズムの普及・促進を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			9	39		
		繰越し等						
		計			9	39		
	執行額			9				
	執行率(%)			100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	国内観光旅行による国民一人あたり年間宿泊日数							2.5
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ユニバーサルツーリズムの地域における拠点づくり、商品等の認定制度の検討、効用調査			-	-	5	-	
				(-)	(-)	(5)	(-)	
単位当たりコスト	39(百万円/式)		算出根拠	地域における拠点づくり、商品等の認定制度の検討、効用調査にかかる経費一式				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	467						
	職員旅費	449						
	委員等旅費	639						
	観光振興調査費	37,521						
	計	39,076						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	人口減少等により旅行における需要は低迷を続けており、旅行需要の喚起は旅行業界だけでなく、日本経済を活性化させる上でも重要な課題となっている。ユニバーサルツーリズムの普及・促進のためには、幅広い関係者と協力していく必要があることから、国が実施することが適当である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	調査業務を実施するためには、観光に関する知見に加え、交通バリアフリー、まちづくり、福祉サービス等の調査に関する知見や能力が必要であるため、一般競争入札ではなく、複数応募による企画競争を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	見込みに見合った調査等が行われ成果物がとりまとめられた。成果物は関係団体等に配布するとともにユニバーサルツーリズム促進のための資料として活用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	ユニバーサルツーリズムの先事例をモデル化したことにより、旅行事業者と地域の支援組織や地域のサービス提供者等との連携がユニバーサルツーリズム促進の大きな課題であることを明らかにすることができた。今後、ユニバーサルツーリズムの更なる普及・促進のため地域の拠点づくりを進めることで、更なる普及促進に資するものである。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年
					1049

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

観光庁
9百万

職員旅費
0.3百万円

- ・事業の企画立案
- ・検討会議委員の人选
- ・シンポジウム開催の企画立案



【公募・企画競争】

A.(株)オリエンタルコンサルタンツ
9百万

- ・先進事例の評価、分析、モデル化
- ・検討会議の開催、調整地域における拠点づくりの検討
- ・シンポジウムの開催運営

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)オリエンタルコンサルタンツ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査分析	7			
事業費	検討会開催・シンポジウム開催・報告書	2			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オリエンタルコンサルタンツ	ユニバーサルソリューションズの先進事例の評価、分析、モデル化等	9	随意契約 (企画競争)	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					